

OCEANIA CRUISES®

オーシャニアクルーズ アラスカ、地中海、北ヨーロッパへの 2026年クルーズコレクションを発表

小型客船ならではのクルーズで
知られざる港、象徴的な都市、活気あるリゾートタウンに寄港



アラスカを行くリビエラ

東京 2024年10月10日 - 美食と寄港地の魅力を追求し世界を牽引する[オーシャニアクルーズ](#)が、アラスカ、地中海、北ヨーロッパを縦横に巡る2026年クルーズコレクションを発表しました。

2026年クルーズコレクションは100以上の魅力ある旅程と35以上のグランドボヤージュ。ブランドの誇る6隻のウルトラプレミアムな小型客船だからこそ、ワクワク感満載の探検クルーズが盛りだくさんにラインナップされています。

綿密に準備された各クルーズには、アラスカの険しい大自然、太陽が降り注ぐ地中海、美しい北ヨーロッパを舞台に、有名観光地だけでなく、知る人ぞ知るとっておきの場所が織り込まれ、未知への冒険心が掻き立てられます。

OCEANIA CRUISES®

オーシャニアクルーズ社長フランク・A・デル・リオ は、「オーシャニアクルーズの小型客船によるクルーズマジックは、訪れる寄港地での体験と共に、まさに格別なものです。船上の精鋭料理チームが作る美食に舌鼓を打ち、更に寄港地観光に出かけるなど、お客様は様々な選択肢から選んで思いのままにクルーズ生活をカスタマイズすることができます。小型クルーズに乗船し荷物をひとたび解いたら、あとは魅力的な都市や隠された宝の探訪に身を任せるだけです。寄港地観光で目的地のできるだけ近くで下船し、船にもどればアットホームな雰囲気のもとで迎えられる - これはオーシャニアならではの魅力です」と語っています。

小型船、大きな世界

バンクーバーからパペーテ、イスタンブールからバルセロナ、レイキャヴィークからロンドンといったバケツリストに並ぶ世界のデスティネーションを訪れるクルーズは、7泊から67泊。他のプレミアムクルーズラインと比較した場合、オーシャニアの小型客船は各寄港地で多くの1泊停泊を含み、また1回の停泊時間も通常より長く設定されているため、クルーズ日程の長短にかかわらず、行く先々を存分に満喫できます。各寄港地では、料理、ワイン、歴史、建築、地元文化など、さまざまな興味に応える数百もの寄港地観光が用意されています

各クルーズで訪れるのは、ロンドン、コペンハーゲン、シアトル、ベルリン、ストックホルム、レイキャヴィークなどの世界的に有名な都市と、イビサ、ミコнос、クレタ、ロードス、サントリーニなどのリゾートアイランド。さらに、シチリアのトラパニ、フェロー諸島のトースハウ、カナリア諸島のアレシフェとランサローテ、ノルウェーのマンダール、ラトビアのリエパーヤ、スウェーデンのリュセヒールなど、小型船だからこそ訪れることができるまだあまり知られていない珠玉のデスティネーションも。

2026年コレクションのハイライト

- *リビエラ*がアラスカに戻り、ラストフロンティアの文化、そびえたつ氷河、原野などを体験する 14クルーズ。
- 地中海では*アリユーラ*、*インシグニア*、*ノーティカ*で7泊から14泊、50以上のクルーズ。
- *ビスタ*、*マリーナ*、*インシグニア*はバルト海、スカンジナビア、ブリテン諸島、アイスランド、グリーンランドで7泊から18泊の約30クルーズ。
- 特にハイライトとなるのは*マリーナ*の日食クルーズ。7月30日発でコペンハーゲンからレイキャヴィークまで、皆既日食経路を航行します。船上では日食観察パーティー、シグネチャーカクテルのサービス、特別料理デモンストレーションなど。有名な天文学者のデニス・マmanaがゲストスピーカーとして同乗し、日食についての講義も。

OCEANIA CRUISES®

アラスカ

シーズン: 5月 - 9月

1,250名乗りのリビエラでアラスカのベストポイントを特別なスタイルで。そそり立つ氷河、美しい原野、特長的な地元の文化を、リビエラのラグジュアリーな雰囲気とたくさんのおいしい料理と共に体験。船から美しいハーバード氷河を間近に眺め、地元の専門家とヘリ観光し、ゾディアックボートでの探検や原生雨林では野生動物サファリなども。

2026年コレクションはリビエラによる様々な14旅程。訪れるのはジュノー、ケチカン、シトカといった有名港や、クラウオック、ランゲル、ヘインズなどの小規模港まで。

地中海

シーズン: 4月 - 12月

印象的な遺跡や趣のある旧市街、活気あふれるグルメシーンや太陽が降り注ぐビーチなど、地中海クルーズでは旧世界の美しさと現代のカリスマ性が見事に融合しています。サントリーニではカルデラを臨むワイナリーを訪れ、エフェソスでは古代ギリシャ・ローマ時代にタイムスリップ。中世の村エズのある丘までドライブし、カプリの青の洞窟に滑り込み、海を見ながら冷えたロゼでランチを楽しみます。イスタンブールのブルーモスク、ローマのバチカン美術館、バルセロナのサグラダファミリアなどの有名観光地はもちろんのこと、シシリアの坂道、アンダルシアの白壁の村、イタリアのリビエラで地中海クルーズの思い出が刻まれます。

アリユーラ、インシグニア、ノーティカで7泊から14泊、50超の旅程。訪れる有名都市はバルセロナ、ローマ(チビタベッキア)、アテネ(ピレウス)、イスタンブール、リスボン、モンテカルロ。

バルト海、スカンジナビア、北部ヨーロッパ

シーズン: 5月 - 9月

ゆるやかな起伏の森がおしゃれな都市へとつながる壮大な物語の地。バルト海、スカンジナビア、北部ヨーロッパには、中世の古都、最先端文化都市、雄大な自然美が融合しています。アイスランドでは広大な溶岩地帯と堂々たる氷河のドラマチックな風景に驚嘆し、ノルウェーでは息をのむほど美しいフィヨルドを船で訪れ、スコットランドのハイランドとシェットランド諸島の不思議を紐解きます。海からおとずれるのが最適な寄港地で最も記憶に残る多様な宝物を見つけることができます。

ビスタ、マリーナ、インシグニアで催行。7泊から18泊の25以上のクルーズから選ぶことができます。1泊停泊はストックホルム、ベルリン、レイキャヴィークなど。



カナダ&ニューイングランド

シーズン: 9月 - 10月

訪れる各地の美しさと広大さに触れる旅。美食の町ポートランド、海洋遺産で知られるハリファックス、ロマンチックな建物が並ぶケベックシティなど、不動の人気を誇る各地を訪れます。

いずれもルートが異なる 11 泊の 4 クルーズをビスタで催行。寄港地はモントリオール、シドニー、ボストンの他、シャーロットタウンやアーヴルサンピエールなどのあまり知られていない町も。

大洋横断

シーズン: 10月- 11月

船内の豊富な設備仕様やサービス、充実した娯楽、エンターテインメントを楽しみながら洋上で数日間を過ごすという贅沢は大洋横断でしか味わえない醍醐味。仏領ポリネシアのボラボラ、プエルトリコのサンファンと並んで、冒険に満ちたカウアイ、ドラマチックなライアテア、摩訶不思議なタンジェ、そして美しいカナリア諸島といったエキゾチックで人里離れたまるで宝石のような小さな港が大きな感動をもたらします。念入りに企画された理想的なクルーズでは、船上での贅沢なリラクゼーションと地上での没入感あふれる体験という、海陸双方の程よくブレンドしたラグジュアリーを楽しめます。

オーシャニアクルーズの大洋横断クルーズは 14 泊と 15 泊。訪れる小規模港はハワイのカイルア-コナ、カナリア諸島のアレシフェ(ランサローテ島)、仏領ポリネシアのヌクヒバ。

オーシャニアクルーズの豪華小型船、絶品の料理、考え抜かれた旅行体験の詳細については <https://jp.oceaniacruises.com> で。

オーシャニアクルーズについて

オーシャニアクルーズは洋上最高の料理と寄港地の魅力を追求する世界屈指のクルーズラインです。最大乗客定員 1,250 名、全 8 隻のラグジュアリーな小型客船が洋上最高の料理と地球規模の豊富な寄港地体験を提供しています。優れたデザイン性とくつろぎに満ちた客船による考え抜かれた旅行体験で、7 大陸 100 か国以上の 600 を超える主要港から小さな港までを 7 泊から 200 泊余りをかけて巡ります。2027 年と 2028 年または 2029 年[1]の引き渡し予定で 2 隻の船を発注済み。オーシャニアクルーズはノルウェー・ジャンクルーズライン・ホールディングス(NYSE: NCLH)の完全子会社です。詳細は www.nclhltd.com

[1] オーシャニアクルーズ 2 隻目の引渡しは、契約上は 2028 年第 4 四半期に予定されていますが、2029 年に延期される可能性もあります。

画像提供はオーシャニアクルーズ

【発行元】オーシャニアクルーズ PR 株式会社フレア

